

学校関係者評価委員会(5月、3月実施) 報告

【1】第1回学校関係者評価委員会

日時 2020(令和2)年 5月26日(火)13:30~14:40

場所 役員室

出席者 本校評議員(15名)

議事

- ①学校の現況について
- ②昨年度(令和元年度)の学校評価の総括について
- ③今年度(2020(令和2)年度)の教育重点目標について
- ④意見交換

今年度は、新型コロナウイルス感染防止対策に追われる1年となった。1年生は入学式を感染対策のもと短時間で終了したのちに学年別登校が行われるまで、家庭学習を余儀なくされた。1学期当初に予定している行事、特に1年生にとっては高校生活の基礎をつくる活動である新入生へのオリエンテーション、2・3年生との絆をつくる体育大会、部活動における地区大会、高校総体等も中止となり大きく本校における学習スタイルも変化した。そのような中、休校中には生徒へ課題を郵送したり、職員研修を行い、遠隔授業や、ICTを活用した学習支援アプリを使用した課題学習へと発展していくことができたことは本校のICT教育の発展へとつながった。6月からの一斉登校直前の評価委員会では、学校の現況報告に対して、以下の報告や意見がなされた。

- 自己評価の成果と課題が明確化されており、わかりやすくとても良い。課題が成果になるようより良い発展を願う。
- 進路への目標達成、努力がわかる。成果と課題が良く分析されており、来年度へ向けてさらなる具現化を。
- 具体的方策が目標レベルのものもあるため、実践していくにはもっと詳細な方策を定める必要がある。
- 一年間を振り返り自己分析を続けておられることとても良いと思う。
- 生徒と同様に保護者においても評価が高い。保護者の期待度にこたえる教育向上を。
- コロナ禍で学校外(保護者、地域等)活動の検討が課題。
- 城北に入学させて良かったとの割合が高いということは自分の子どもを見てそう感じられたということ。よい子どもに成長していると感じておられること。
- コロナ禍における教育の在り方が学校としての課題。

【2】第2回学校関係者評価委員会

日時 令和3年 3月24日(水)13:30～14:30

場所 役員室

出席者 本校評議員(15名)

議 事

- ①学校の現況について
- ②今年度(2020年度)の学校評価について
自己評価・生徒評価・保護者評価・学校関係者評価の総括について
- ③次年度(令和3年度)へ向けて
- ④意見交換

学校評価をもとに総括を行ったが、学校に対する多くの期待や成果に対する前向きな発言を頂いた。今年は1年を通したコロナ対策と例年行われていた学校行事等の変更を余儀なくされ、通常の学校教育活動ができない1年であったが、そのような中においても本校生の活躍や学習形態での成果もあり、次年度へ繋げるための研修や総括(成果や課題)の中で、成果や課題の明確化と職員間の共通理解を図った。委員からは、評価に対して以下の意見が出された。

○全体的には高評価である。学校行事、学習環境への高い成果を目指せば、その満足度に比例して、時間的な余裕がなくなったりとバランスは難しいと思うが成果は出ていると思う。様々な学科があり、生徒間にも格差があるため指導なども大変であると思うが、先生方の頑張りがわかる。

○年々評価が良くなっている先生方の努力と熱意の成果。

○各校務分掌においても課題が昨年以上に明確になった。生徒による評価、保護者による評価についても結果数値としては良くなってきているが、しっかりと受け止め今後の教育活動へ生かしていかなければならない。

○課題である学習に対する取り組み、学習習慣の確立へ向けての基本となる「予習・復習」への取り組みがようやくではあるが徐々に上がってきているのは良い方向であるが、依然として低い数値である。

○学校改善検討委員会を改善し、目標の焦点を絞り、回数や時間の検討も行ってはどうか。

【総括】

コロナ禍における学校経営、運営ということで、様々な対応変更や制限、中止等に混乱することもあったが、生徒・保護者の協力と、それぞれの努力の結果として、多くの経験と現状をプラスとし、成果として残すこともできた1年であった。進路結果において、市役所に2名の合格(山鹿・菊池市役所)を出せたことも生徒本人の努力と1年次より関わってきた職員の継続的な指導の結果であった。今年から専攻科の学生と特進の生徒は一人1台のタブレットを活用し、教育の幅を広げることができ、コロナ禍においても活用することができた。次年度からは、新入生となる1学年全員にタブレットを持たせた教育活動も始まる。各教科においてもICT教育の活用教育を進めており、今後の本校教育活動全体の大きな課題となり、発展する1年ともいえる。また、学校施設面の改善として、課題として毎年上がっていた男子寮の新築工事が次年度始まることは環境整備として大きな改善と成果となることである。学校経営と教育環境整備、教育内容の向上を図り今後も経営者、職員が一体となり保護者・生徒へと満足させる教育を模索し提供していきたい。

2020年度 教育目標

建学の精神 『人間をつくる』

1 学校教育目標

- (1) 建学の精神に則り、教師の愛と指導力と感性で心をつくる教育を展開し、社会に貢献する人材を育成する学校を目指す。
- (2) 城北魂スピリッツ「自分のことより先ず人のことを思え」の教育理念のもと、全ての差別をゆるさない、一人ひとりを認め合い、高め合う教育を実践する学校を目指す。
- (3) 生徒へ希望を与え、生徒を伸ばし、生徒の可能性を引き出す学校として、生徒、保護者、中学校を満足させる教育を展開する学校を目指す。

2 本年度の教育重点目標

- 1 「心を磨き育てる教育」の確立。教育活動全体において「この坂を上れば希望がある」「自分のことより先ず人のことを思え」の理念を基盤とした教育の具現化と実践を図る。すべての教育活動の中で強い心と美しい心をつくることを意識した教育を展開し、人権感覚を磨き、あらゆる差別を許さない心を育む教育を実践する。
生徒を認め、励まし、伸ばす教育の実践で、一人ひとりの生徒の居場所をつくる。心の掃除指導、あいさつ指導、論語教育、希望手帳の効果的活用。いじめをしない、させない、許さない教育の実践。(クラス、授業、部活動等連携指導) また、「SDGs」を理解し、自ら主体的に実行し得る生徒の育成を図る。
- 2 「わかる授業」の追求と実践。授業の質を向上させるための教科内における積極的な対話、研修と研究を積み、授業のねらいの明確化を図り、生徒が自主的、意欲的に取り組む「学ぶ姿勢」「学ぶ習慣」をつくる教育を実践していく。また、ディスカッション力やプレゼンテーション力の向上を目指した授業の展開を創意工夫し、実践する。「本を語る学校」として、すみれ文庫を活用した教育活動と教科指導を工夫する。
授業研究と公開授業の実施。アクティブラーニング、チーム課題解決型学習、ICTを活用した授業等、生徒の興味関心を高める工夫と創造された授業の展開。知ること、学ぶことの楽しさを味わわせ、主体的・対話的で深い学びの実践から「読解力」「想像力」「表現力」の向上へ。
- 3 「計画的かつ系統的な進路指導」の確立。個々の生徒の進路希望や目標を具体化し、進路実現へと繋げる教育の実践。進路指導部と各学年の進路指導の連携を強化し、1年次からの目標設定と系統的かつ具体化した指導の実践。
授業・課外の充実、各種国家試験対策強化、公務員試験対策強化、希望手帳の記入の習慣化により、書く習慣づくりとポートフォリオづくりの確立。また、思考力・判断力・表現力を意識した小論文指導と面接指導。
- 4 「効果的かつ充実した学校教育活動と学校行事」の実践。生徒が主体的に活動し、輝く教育活動が実践できるよう各種学校教育、行事等の検討と内容改善を図る。
学校行事、各校務部行事、学科コース、生徒会行事等の精選と内容充実活動の実施。地域活性化プロジェクト、体育大会、オープンキャンパス、学園祭、プレゼンフェスタ、山鹿学、総合的な探究の時間の活用等、内容の充実と実践を図る。

3 自己評価総括表 評価基準(4:十分達成 3:おおむね達成 2:やや不十分 1:不十分)

評価項目		具体的目標(評価の観点)	具体的方策	評価	成果と課題	R 1
大項目	小項目					
学校経営	建学の精神に則った教育目標の実践	愛と指導力と感性で生徒の可能性を引き出し生徒・保護者・中学校・地域を満足させる教育を実践する	建学の精神に則り、学校教育を展開していく。目の前にいる生徒を満足させる教育活動を実践する。	3.1	一人ひとりの個性や能力に応じて資格取得など人生の幅が広がる教育ができています。各科で目標に向けた取り組み一定の成果があった。生徒、保護者を満足させている。	3
	特色ある学校(学科、コース)づくり	学校、学科、コースの特色、生徒一人ひとりの個性を生かした教育活動を展開する	学科・コースの特色の明確化を図る。個々の生徒の可能性を引き出し、学科・コースの実績を高める教育活動を実践していく	3.1	サポートを必要とする生徒が多く、基礎中心になるのが課題。卒業生の活躍等アピールして人材規制につなげたら。生徒・教師の努力は評価に値する。各学科特色がある。	3
	開かれた学校づくり	ホームページや学校新聞、広報誌等で情報発信し、説明責任、学校理解を図る	ホームページや学校新聞の更なる充実を図るための工夫を行い、生徒の活動、頑張りを発信する	3	HP更新、充実に課題。Webからの願書提出の検討必要あり。広報誌、メディアの活用はできた。県外からHPを見て問い合わせがあった。学校新聞で新しい情報発信ができた。	2.8
	地域からの信頼を得る学校づくり	地域及び保護者との連携、生徒・職員による地域貢献を図る	地域、PTA間の連携を図り、各種地域活動行事、学校行事、ボランティアへの生徒・職員・保護者の積極的参加と成功を図る	2.9	コロナ禍での計画検討必要あり。小児実習を通して学びや地域の関わりを持てた。Jミッションの取組みもつとアピールできた。必要作業2回実施できた。コロナで難しい部分はあったが個々でよくやった。JM良かった。	3
	教育環境の整備	施設設備の充実及び、危険箇所等の早期発見、早期対応を図る	教室・体育館等の充実、耐震補強を進める。改善(老朽化設備の点検・修理等)を進める。	2.9	新体育館は課題あり。男子寮建設アピールポイント。修理、工事、エアコン改善している。職員室のパソコン数増加を。	2.8
学力向上	わかる授業の実践	常に学習指導方法の工夫・改善を施し、授業力向上を図る	研修、公開授業等で教師間の指導力の向上を図り、振り返りシート等を使い自らの授業を常に研究、改善する	2.6	振り返りシート活用は課題。資格取得へ向けての実施はできたが、タブレット活用で課題が、新しい科目、教科書の更新への対応に課題があった。ICT活用を期待。振り返りの活用で指導につなげた。教科間の話し合いできた。	2.6
	教育課程と時数の確保	各学科コースの特色を生かした教育課程と3年間を見据えた指導計画の達成	各学科コースの特色を生かしたシラバスの作成と、全ての生徒の学力向上を目指した授業を展開する	2.9	休学期間中も計画的に学習ができるよう工夫できた。生徒の特性に合わせた準備が必要。ICT活用を期待。新カリ検討。進捗は順調である。	2.7
	学習習慣と基礎学力の定着	学習習慣の確立へ向け、家庭学習の習慣化を図り、生徒の状況を把握し、適切な学習指導を実施する	生徒の課題学習状況の把握と、授業、課外、マナトレ、一歩学習の取り組み強化と成果を図る	2.6	基礎学力定着への取り組みに課題。プリント活用により、予習、授業、復習の徹底ができた。丁寧な教師が多い。学生の理解度に応じた進捗を実践した。家庭学習定着課題。提出物チェック丁寧にできた。	2.3
生徒指導	自律心と自尊感情の育成	自ら判断し行動する生徒を育成する	生徒が自ら考え行動を促す情操教育の実施と黙想、論語教育等による心の教育を図る	3	自ら考え心が安定し落ち着いた日々に論語がどれだけ効果になっているか課題。黙想、論語しっかり実践できた。	2.9
	基本的な生活習慣の確立	挨拶・時間の厳守、服装指導等の徹底と生徒自らが取り組む心の掃除の徹底	登校指導、ホームルーム指導、職員間の指導の連携を図り、統一した指導で徹底を図る	2.9	生徒から教員に挨拶を返してほしいとの指摘があり、教員は応えるべき。手をポケットに入れて歩く教員は意識改革を。立ち止まって挨拶指導できた。	2.7
	明るく楽しい学校づくり	問題行動やいじめのない明るく楽しい学校を目指す	問題の早期発見と素早い対応を行い、特にいじめ問題についてはアンケート調査等により実態を早期に把握し対応する	3	アンケートのみでは不十分。2者面談等必要。生徒の言動観察に努めた。いじめのないクラスづくりができた。生徒間のからかいがあった。	3
	交通指導の強化	交通マナーの向上と交通ルールの遵守を図り、交通事故、違反をなくす	交通安全教育を徹底する(交通講話、実技指導等)自転車、二輪車通学生生については特に安全教育を強化する	2.8	コロナ禍で講習ができなかった。啓発活動は必要。事故が多かった。予防、発生時の対応丁寧にやれている。その都度指導できている。	2.8
進路指導	進路目標設定、進路情報提供	進路に関する計画的な指導と支援、充実を図る	学年との連携強化を図り、生徒の意識を高め、学習意欲向上や計画的学習につなげ、進路に関する意識向上を図る	2.8	コロナ禍における進路指導(OC等)今後の在り方が問われている。成果はあったが更に進んだ内容充実を期待。面接練習回数少ない。しおりはできたが活用は課題。	2.9
	目標達成へ向け徹底した進学指導	目標達成へ向けての3年間と単年度の具体的計画の確立と実践、指導の強化	進路希望調査及び模擬試験の結果の早期分析による適切かつ計画的な指導をおこなう	2.9	模試結果の共有、分析に課題。進路実現に向けた指導ができた。就職はほぼ達成、進学課題。単年度で終わっている。継続した指導計画を。	2.7
	目標達成へ向け徹底した就職指導	目標達成へ向けての3年間と単年度の具体的計画の確立と実践、指導の強化	進路希望調査及び職業適性結果の早期分析による適切かつ計画的な指導をおこなう	2.8	個に応じた指導充実を期待。VRT以外の導入の検討。今何をすべきか常に考えさせている。基礎学力向上を図るには。	2.8
人権教育の推進	職員の人権意識の高揚	職員研修の充実と各種研修会への参加	校内研修会の計画的な実施及び外部研修会等への積極的参加	2.7	研修参加が難しい年であった。啓発活動が不十分。県の集まりで人権部長が頑張った。コロナ禍で研修が減った。	3
	生徒の人権意識の高揚	豊かな人権感覚を身につけた生徒の育成を図る	教育内容と指導の工夫・改善を検討し、学校全体、学年、クラスにおいて計画的に人権教育を実施する	2.8	学年、クラスにおける人権教育指導に課題。啓発活動が不十分。クラスづくり面談等協力して行えた。学園祭の取組みで人権教育を行った。	2.8
特別活動	適切な学校行事の実施と充実	意欲的かつ自主的に学校行事に参加し、他と協力し合う協調性の育成を図る	計画的かつ効果的な学校行事運営・内容を検討、確立し、更に充実させる	2.8	コロナ禍の中で精一杯できた。学園祭とJミッションを実施した成果は大きかった。	2.7
	生徒会活動と委員会活動の活性化	生徒自らが主体となり活動する生徒会、委員会活動の確立	生徒会・委員会の運営、役割を整理し、生徒自らが主体的かつ計画的に活動するよう組織を充実させる	3	生徒会生徒の負担に課題が。自主的によく動き頑張っている。委員会の活動格差課題。生徒会、担当職員よく頑張っている。	3.1
	部活動の活性化	スポーツ・文化部活動の更なる活性化と向上を図る、	全国レベルへ向けて、人間形成の基盤となりうる部活動へ向けて、更なる活性化を図る	2.9	コロナ禍、部員減少による部活動に課題。強化部以外の部活動の見直しを。奨学生としての意識指導を各部活動で。今できる範囲でよく頑張っている。	2.6
その他全体的に成果と課題		コロナ禍で現状(教育)をどうするか。保護者参観が無くなり、学校の様子を知りたいと思っている保護者が多いのではと思う。学級新聞で伝えるなど努力したが、保護者への情報提供について適切に行っていききたい。職員間のコーディネート、ケア体制の確立。継続進化の創意工夫。				

評価項目		具体的目標(評価の観点)	具体的方策	評価	成果と課題	R 1
大項目	小項目					
総務部	本校教育活動を中心に情報の発信を行い、生徒募集へと繋げる	オープンキャンパス・教育実践入試説明会・中学校訪問・各説明会を充実させる	3.5	実施直前まで変更があり、課題。オンラインで実施できたのは良かった。他校を見学し本校の素晴らしさがわかった。発信力が良かった。	3.4	
		学校案内、ポスター、募集要項、ホームページ等適切かつ効果的に発信する	3.3	少子化の中多くの生徒が参加してくれた。Web発信中心に関われた。問い合わせのメールに対応できていないのが課題。	3.2	
		適切な入学試験の実施	願書配布、入学試験、合格発表までの流れを的確に行う	3.3	全職員が協力してできている。綿密なスケジュールでできている。デジタル化必要。	3.3
			入学試験全般における課題の改善を図る	3.3	確認などよくできている。これから問われる。デジタル化必要。	3.2
		PTA活動の活性化	PTA活動の活性化のために具体的方策の検討と実践を行なう	2.8	コロナ禍で活動の縮小が多くあった。愛校作業への教職員参加率が高かった。全職員が関わっていくべき。コロナ禍で活動が減った。	3
		同窓会活動の活性化	同窓会活動の活性化のために具体的方策の検討と実践を行なう	2.5	担当者に任せきりが課題。今年は活動できない状況であった。活性化目指し検討。	2.7
		効果的な環境美化の実施	具体的な環境美化計画、心の掃除、大掃除を実施し、より効果的かつ情操教育へと繋げる	3.1	心の掃除に課題。少しずつ定着してきている。部活動生の朝からの活動もすばらしい。整理整頓できた。意識は高まってきている。	3.1
		総務部活動全体について成果と課題	活動時の直前における変更、役割分担等に対応できない部分があった。部長を中心にタイムリーに活動できていると思う。地域に根付いた活動も多く実施できて本校の特色を発信できている。新しい生活様式を踏まえた取り組みの時期で柔軟性が求められるが、大変な状況の流れをつかみながらよく対応できている。PTAは総務部で。部長を中心に先手先手で取り組みが進んでおりすばらしい。全体的に活発に熱心に協力して取り組んでいる。コロナ禍の中、計画、実施良い判断、対策をとり行えた。コロナ禍における新しい形づくりが必要。			
	各部及び専攻科	効果的な学校行事の実施と授業時数の確保を図る	学力保障のための授業時数の確保、自習時間の減少を図る	3.1	特別時間割を減らす。ICT導入が良かった。例年と同様にできている。	2.9
			目的を明確化し、より効果的かつ充実した学校行事の実施	2.9	今年はコロナ禍で中止が多かったがその中でもよくやっていた。	3
			効果的かつ適切な時間割の実施	3.1	特別時間割が多く担当の負担大に課題。改善している。	2.8
		わかる授業の実施、基礎学力定着への取組み強化	よりわかる授業実践のための教材研究と授業の工夫、生徒の学習意欲を喚起する授業の実施	2.8	オンラインが習得できた。業務に追われて教材研究の時間が少ない。ICT機器で生徒の反応が良かった。	2.8
			研究授業等を実践し、指導方法の工夫改善を図る	2.8	数学、理科で実施できた。タブレット活用で指導方法を工夫できた。研究授業後の研究会の充実を。	2.7
			教科担当者間における連携で授業の改善、評価の充実を図る教科会等の実施	3	新方に向けた準備がまだである。週1回の教科会は良かった。	2.8
振り返りシートの効果的活用			2.4	使用できたが、常時的ではなかった。全体的に使用回数が少ない。	2.4	
職員の指導力向上、意識の向上を図り、ベクトルを揃える職員研修の充実		校外における効果的かつ計画的な職員研修会の実施	2.9	研修はある程度できたが時間の余裕がなかった。研修は大変勉強になるが、調査後は採点業務の時間にしてもらいたい。しっかりと参加できた。	2.9	
多種多様化する奨学金制度への的確な対応と利用実施		生徒、保護者のニーズに合った的確な奨学金制度の案内、手続き、活用を行う	3.3	全職員の理解を。適宜行っていた。本校の奨学金制度Sはすごい魅力である。	3	
教務部活動全体について成果と課題		部内の組織力向上が成果。新しい学習指導、授業改善、職員意識向上や啓発等今後の課題。役割分担の業務の励行に課題。希望タイムに授業が入ったことは時数確保につながった。次年度へ向け評価規定をしっかりと考えていきたい。審査入力ミスが多い。評価規定の徹底を。生徒中心のバランスのとれた連携が必要。時間割が良くつくられている。				
生徒指導部	基本的生活習慣の確立	挨拶(立ち止まる、体を向けて、校門一礼等)、指導、服装指導の徹底	3.1	生徒達はすばらしい。	2.8	
		心の掃除の徹底	3	心の掃除に課題。よく指導できている。場所により取り組みの差がある。	2.7	
		欠席、遅刻、早退生徒への対応・指導	3.1	職員は良く対応している。	3	
	問題行動をなくし、特別指導において自主性と規範意識の構築を図る	校則や社会的マナー、ルールを遵守することの大切さや、そのための効果的な指導の実施	3.2	その時々で指導ができている。	2.8	
		規範意識と自主性・意識向上のための特別指導の実施	3	コロナ禍の中で難しかった。	2.9	
	いじめのない、生命を尊重し安全で健康な心身の確立を図る	城北スピリッツの精神で、人間の生命の尊厳と互いの人格を認め合う心を育てる	3.2	SNSなどの指導が今後課題になっている。	3	
	生徒指導部活動全体について成果と課題	日々の丁寧さに感謝。組織力強化が今後の目標。時代のニーズに合わせていくことも必要。5時以降生徒指導室不在が多く、生徒達も困っていることがあった。当番制など検討を。部内の協力意識、体制が足りない。チーム意識向上を。生徒一人ひとりに浸透できる生徒指導の在り方追求。挨拶がすばらしくできている指導が良い。生徒が自主的に動ける心の掃除を総務と連携して。				

評価項目		具体的目標(評価の観点)	具体的方策	評価	成果と課題	R 1
大項目	小項目					
各部 及び 専攻科	人権教育部	豊かな人権感覚を身につけた生徒を育成する	学校全体、学年、クラスにおいて計画的かつ効果的な人権教育の実施	2.7	たよりの発行、レポート発表等よくやれていた。学年で実施できていないのでクラス間格差があるのでは。	2.8
		職員の人権意識の高揚を図る	校内外研修会の計画的な実施と参加	2.5	コロナ禍で難しかった。計画があいまいであった。	2.8
		人権教育部活動全体について成果と課題	部長の事前研が良かった。研修(生徒、職員)がもう少しあれば良かった。教員研修が必要。コロナの影響で出来なかったことが残念。講演会ができなかった。多くの先生のサポートがあった。			
	教育支援部	個々の生徒の実態に応じた支援体制の確立と支援	特別支援における情報の共有を図り、支援体制を確立し、教育活動全体を通しての支援	3	生徒情報共有とても良かった。	2.9
		生徒支援における教職員の連携と効果的な組織体制づくり	教職員への研修、情報の共有等においてのバックアップ体制と組織の確立	2.9	校内研修を中止しその代わりに個別にたくさん情報共有できた。	2.9
		教育支援部活動全体について成果と課題	生徒の情報が共有できることで、対処法もわかり勉強になった。これからは他機関との連携を含めて職員研修を入れてみては。支援対象の増加チームアプローチが必要。生徒理解と支援の充実は年々進んでいるが、一人ひとりの検討(振り返り)ができることさらに良い。頻繁に会議が行われ情報を共有できた。しかしその後は、担任一人が背負うことが多く、皆で関わるという体制作りが必要。教師一人ひとりが力をつけてきた印象が強い。教育相談時の担任による工夫がかなりあった。			
	保健体育部	体育的活動の充実	体育大会、クラスマッチ、体力錬成行事等体育的行事の充実を図る	2.6	コロナ禍でできない分工夫が必要。	3
		保健衛生面の充実	生命尊重を基盤とした、安全で健康な心身の確立と心身の健康に問題を有する生徒への対応の充実を図る	2.9	コロナ対策徹底を。	2.9
		保健体育部活動全体について成果と課題	体育大会出来なくて残念であった。コロナ禍での制限の中で心身のバランスを保つための活動(研修)も必要。コロナ禍の中対策をとり実施できたのが良かった。			
	生徒会	生徒会活動の充実	生徒会の役割、運営等を把握整理し、生徒会活動がより主体的かつ効果的になるよう充実を図る	3.3	充実している。	3.4
		生徒会組織の充実と委員会活動の活性化	生徒会執行部の組織としての連携と各委員会との連携の強化を図り、全体の活性化を図る	3.2	コロナ禍においても活性化している。	3.3
		生徒会活動全体について成果と課題	コロナ禍での学園祭であったが、すばらしかった。生徒会は良く動いている。年度始めに職員の仕事分担をしたが、あまり機能を果たすことができず、課題となった。校務との並行には大変な状態であった。よくやられているが生徒負担を軽減しもう少しゆとりが必要。質が上がったのは目に見えるが、かなり負担が生徒、担当職員にある。主体的に生徒中心に良く動いていると感じる。			
	看護専攻科	看護専攻科教育を通して地域社会に貢献し得る豊かな人間性・創造性を兼ね備えた看護師を育成する	実習や各授業において学生が意識を高め、達成感や課題解決学習に取り組む態度を育てる教育活動の充実を図る	3.2	学内実習においてコロナ禍の時代、難題であった。ICT充実を図る必要がある。	3.1
			国家試験全員合格へ向け、計画的、合理的学習の充実を確立する	3.4		3.4
		看護専攻科全体について成果と課題	100%達成すばらしい。専攻科独自路線で100%と質向上への取り組みを続けていくこと。学生が高校の教員に挨拶しない。コロナの影響で臨地実習が短く成果が見えづらい状況である。5年一貫と唄っているにも拘らず全員で育てているという意識が少ない。生徒・学生は素直に成長して結果を出している。			
	事務部	経理・庶務・会計の充実	各項目における経理・会計の正確かつ明確化を図る	3.2	遅れる時などのアナウンスが良かった。月次報告が必要。丁寧に仕事を進めている。	3.3
		安心安全な食堂運営	安心安全かつバランスのとれた食事の提供を図る	3.4	生徒は美味しく食べています。タンパク質多めに。男女の食費同じでも。返金制度の見直し。美味しい食事提供できています。	3.1
		安心安全なスクールバス運営	計画的な車両の整備点検を行い、安心安全な管理体制の確立を図る	3	定期的車両点検は不十分。事故が無いのが良い。クレーム対応が無くなるようにすべき。安心安全を目指した指導徹底。	3.4
			的確かつ合理的なスクールバスの運行を行う	3	予算を検討する必要がある。クレームが多いのが心配。	3.3
		安心安全な寮運営	寮生の実態把握を的確に行い、点呼体制、寮生活における規律体制の確立と、より豊かな生活が営めるよう充実を図る	3.2	盗難など問題行動が無くなり充実しているのでは。男子寮建設を機に体制整備を。	2.8
		事務部全体について成果と課題	相談にいつも乗って頂き気持ちよく働ける。毎年のスクールバスの購入により事故が無くなったように思う。効果的な教育活動についての支出など継続検討が必要。当番や設備の使い方等誰が見てもわかりやすいものを作りたい。入試受付協力体制をつくる。旅費規定の見直し、SB運行業検討、電気・水道代削減など来年度へ向けて課題を解決していきたい。不合理と思われる点を改めていきたい。			

評価項目		具体的目標(評価の観点)	具体的方策	評価	成果と課題	R 1
大項目	小項目					
各部 及び 専攻科	進路指導部	進路実現に向けた啓発活動、指導体制の確立	生徒の進路希望や学力等の的確な把握と指導を行い、計画的、体系的な指導を行う	2.9	面接指導に課題がある。	2.9
		計画的かつ充実した進学指導の実施	計画的、より効果的に生徒の学習意欲と学力の向上を図る授業、課外、希望塾の実施	2.9	教科のバランスをもって特進課外時間を編成した。教員の横のつながりが弱い。	3
		計画的かつ充実した就職指導の実施	計画的、より効果的に生徒の就職活動ができる環境を整え、学力の向上とキャリアプランニング活動の充実を図る	2.9	基礎学力定着への取り組みに課題。	3
		効果的な面接・小論文対策指導、公務員対策指導の確立	個々の生徒に応じた進路実現を図るための計画的、体系的な指導を徹底する	3	今年も現役合格を出せてよかった成果が出ている。公務員指導は成果が出ている。	2.9
		進路指導部全体について成果と課題	特進の学年間のつながりがなかったのが課題。担任の指導力不可欠。指導に結び付ける研修、学び合いが必要。公務員担当スタッフの経験値が上がり実績に繋がっている。進学課外では担任間の連携が薄かった。専攻科は進学者を除き全員内定ができた。			

	行事	評価(4~1)	成果と反省と課題
	学校行事等について	Jミッション	3.2
本校におけるコロナ対策について		3.0	評価(4~1) 成果と反省と課題 手指消毒、換気等対策はできているが、生徒の自覚がまだ足りない。全校朝会、昼食時のあり方など不安を抱えながら感染防止に努めている。細心の注意を払いながらできている。コロナ感染ゼロはすばらしいこと。意識は上がってきているが更なる徹底を。コロナ陽性が出ていないのが成果ではあるが、更なる対策必要。細かいところまで計画し実行できていると思うが気が緩まないように取り組んでいくことが必要。必要時玄関先での体温測定、掃除の徹底、HRでの声かけ、アルコール消毒、手洗いなど実施できている。意識の差はあるが最低限の対策はできている。マスク着用、生徒の自主的な換気できている。調理科のフェイスシールド、消毒、換気できている。スクールバス、寮、食堂、部活等リスクが高いところではもっと対策強化を。適宜対応できた。登校時の検温などもっと徹底すべき。生徒への指導をもっと徹底する必要がある。登校時、授業後(特に体育)、食事前後、トイレ後の消毒、健康チェックが課題。職員共通理解のもと対策をとることができたが、生徒達には常に声掛けが必要であった。

本校におけるICT教育について	評価(4~1)	成果と反省と課題
	2.9	<p>頑張っていると思う。生徒・教員に一台ずつタブレットがあればさらに進展するだろう。タブレット導入と並行して職員のPCスキル向上も必要になってくる。急激な導入でもよく取り入れられている。自分自身でもっと克服する努力が必要。日常的な操作を行い、レベルを上げて授業活用できるようにしたい。Wi-Fi整備。活用状況に教員のがある。教科間格差も。ICT委員の先生方のおかげでずいぶん進んだ。次年度へ向けてさらに推進を。分かる授業のためには必要。学校全体で良く活用できていると思う。大型TVモニターの教室設置でipadの使い勝手が良くなると思う。来年度予算に検討できないか。担当するクラスで活用したが生徒、教師共に楽しく活用することができ、今後工夫していきたい。コロナ禍において一気に進んでいると感じる。まだ不十分な点はあるが校内での取り組みは進んできた。教科、クラス間格差の改善が必要。一人一台での活用はできないか。職員朝礼、会議時の方法検討が必要。タブレットをどう活用し学びにつなげるかが問題であることを実感した。思いつきのアイデアでの活用が多かったので次年度は計画的に行いたい。</p>
学校改善検討委員会について	評価(4~1)	成果と反省と課題
	2.9	<p>理事・役員の方々にアドバイスを頂きありがたく思う。働く環境は良いと思うが、改善点が良くわからない。年3回での限界を感じる。議論から実践、評価、定着まで時間を要するので、校務分掌や委員会、学年会などとの協力体制が必要。廃止でいいと思う。「一人ひとりが経営者」全職員がより良い学校にしたいと思うことは大変良いことである。成果が明確に全職員に伝わっていないが、会に参加することで意識が変化する、個人的には効果有。もっと主体的に取り組んでいきたい。理事が入ることで、学校改善を図る良い機会になっている。友好的な雰囲気自由で話ができている。看護学科の充実、第5部会は必要ないかと。ICT教育、新カリキュラム、Jミッションなどを充実させる内容などにシフトさせてもいいと思う。いろんな意見や価値観に触れる機会となる会で良い刺激を与えられた。話し合ったことを実践につなげるよう参加する必要がある。とても良い組織で学校の存在を左右するほどのものだと思う。しかし、職員の時間がなく、よい検討ができていない。検討委員会にかかる時間がもう少しあればすばらしいものになると思う。話し合いしたことが部会以外や委員以外の先生方に共有していくのが課題である。</p>

4 生徒による評価総括表 R2年度		当てはまる		まあまあ当てはまる		あまり当てはまらない		全く当てはまらない	
		今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度
1	学校の教育方針や教育に関する取り組みなどの情報は十分に伝えられている。	35.9%	34.5%	53.5%	51.5%	9.5%	10.0%	0.7%	3.5%
2	学校から配布される文書はわかりやすく丁寧な物になっている。	50.0%	44.5%	44.6%	49.0%	5.1%	5.5%	0.4%	1.0%
3	学校からの連絡は適切な時期・時点に行われている。	40.0%	33.5%	46.2%	46.0%	11.6%	17.0%	2.0%	4.0%
4	先生方は家庭への連絡をきめ細かく取ってくれる。	35.4%	31.5%	45.8%	48.0%	16.7%	17.5%	2.1%	3.5%
5	先生方の対応は親切で誠意があると感じる。	41.5%	38.5%	43.0%	45.5%	13.1%	12.5%	2.0%	4.0%
6	先生方は生徒の悩み事に対して親身になって相談にのってくれる。	44.7%	40.0%	40.9%	44.5%	12.0%	11.5%	2.1%	3.5%
7	城北高校は学校行事が充実している。	32.9%	34.5%	39.4%	40.0%	20.3%	18.0%	6.9%	7.0%
8	城北高校では基本的な生活習慣や規範意識を身につける指導が適切に行われている。	48.6%	47.0%	43.3%	45.0%	6.7%	7.0%	0.9%	1.5%
9	城北高校では命や人権を尊重する指導・学習が適切に行われている。	47.0%	47.0%	43.0%	44.5%	8.9%	6.5%	1.2%	1.5%
10	城北高校では安心して学校生活を送ることができる。	48.5%	47.0%	41.0%	40.5%	8.8%	9.5%	1.7%	3.0%
11	城北高校ではいじめのない学級、学校づくりがなされている。	43.4%	42.5%	44.0%	44.5%	10.5%	9.0%	2.1%	4.5%
12	城北高校では健康と安全について適切な指導が行われている。	51.7%	51.0%	41.1%	43.0%	6.0%	3.5%	0.6%	1.0%
13	城北高校では進路について情報提供が適切になされている。	47.4%	49.0%	43.2%	43.0%	6.9%	6.5%	2.1%	1.5%
14	城北高校は教育に必要な施設や設備が整っている。	42.7%	41.5%	42.4%	42.5%	12.3%	12.5%	3.0%	3.5%
15	城北高校は他の学校にはない特色がある。	51.7%	53.0%	34.1%	34.5%	12.5%	9.5%	1.6%	3.0%
16	城北高校での生活や学習は自分の成長に役立っている。	46.6%	42.0%	44.3%	47.5%	8.2%	8.0%	1.6%	2.5%
17	就寝、起床、食事など規則正しい生活をしている。	50.4%	42.5%	31.7%	37.0%	14.9%	16.0%	3.0%	4.0%
18	学校を欠席、遅刻しないように日頃から心がけている。	71.7%	75.0%	21.2%	21.0%	5.4%	3.5%	1.2%	0.5%
19	先生や友人に毎日あいさつをしている。	68.4%	68.5%	26.8%	27.5%	4.0%	3.5%	0.7%	0.5%
20	希望手帳を有効に活用している。	20.6%	22.0%	35.5%	33.0%	30.5%	29.5%	13.7%	15.0%
21	心の掃除に意欲的に取り組んでいる。	39.5%	37.0%	47.0%	49.0%	10.6%	12.0%	2.8%	2.0%
22	家庭学習(予習・復習・自学)の時間を十分確保し取り組んでいる。	17.7%	16.0%	35.0%	42.0%	34.8%	31.0%	12.2%	12.0%
23	学校の授業内容を理解している。	20.5%	18.5%	55.9%	55.0%	19.6%	21.0%	3.4%	5.0%
24	特別活動(学校行事・生徒会活動・部活動など)に積極的に参加している。	46.9%	42.0%	34.2%	37.5%	13.9%	15.0%	4.6%	4.5%
25	学校の施設、公共物を大切にしている。	75.5%	75.0%	22.0%	23.5%	3.3%	1.0%	0.4%	0.5%
26	自分の将来に夢や希望を持っている。	50.2%	50.0%	34.1%	34.0%	12.9%	11.5%	2.8%	4.0%
27	明るく生き生きと学校生活を送ることができている。	45.5%	47.0%	40.0%	39.5%	10.7%	10.0%	3.4%	3.0%
28	城北高校に入学して良かったと思っている。	37.9%	36.0%	42.4%	41.5%	12.9%	15.0%	6.9%	7.5%

5 保護者による評価総括表

4: そう思う 3: どちらかといえばそう思う 2: あまりそう思わない 1: 全くそう思わない

	項目	R2年度 評価 (%)	R元年度 評価 (%)
1	城北高校の保護者は、城北高校の教育方針を理解し、よく協力している。	4(30.6) 3(62.4) 2(7.1) 1(0.0)	4(26.4) 3(67.0) 2(6.4) 1(0.2)
2	城北高校の学校行事は、子どもにとって充実しており学校の特色となっている。	4(38.6) 3(56.9) 2(4.1) 1(0.4)	4(42.0) 3(53.0) 2(5.0) 1(0.0)
3	城北高校の授業は、生徒の興味・関心を引き出すよう授業の内容や教え方を工夫している。	4(31.8) 3(60.4) 2(7.4) 1(0.4)	4(28.0) 3(62.7) 2(8.7) 1(0.6)
4	城北高校の進路指導は、生徒の将来を見据えた適切なものである。	4(38.6) 3(53.2) 2(7.8) 1(0.4)	4(37.4) 3(55.2) 2(7.4) 1(0.0)
5	城北高校の職員は、生徒の進路希望達成に向けて積極的に努力している。	4(46.5) 3(47.0) 2(6.2) 1(0.4)	4(40.7) 3(52.5) 2(6.8) 1(0.0)
6	城北高校の職員は、生徒の悩みや保護者の相談に親身になって対応している。	4(45.4) 3(44.8) 2(8.9) 1(0.9)	4(34.4) 3(55.3) 2(9.1) 1(1.2)
7	城北高校は、生活面での規律(挨拶、時間を守る、服装など)の指導に力を入れている。	4(52.1) 3(44.5) 2(3.1) 1(0.4)	4(54.9) 3(42.2) 2(2.9) 1(0.0)
8	城北高校の部活動や生徒会活動などは、活発である。	4(49.3) 3(45.1) 2(5.4) 1(0.2)	4(48.1) 3(47.3) 2(4.3) 1(0.4)
9	城北高校は、健康・安全に関する教育がよく行われている。	4(39.6) 3(55.2) 2(4.9) 1(0.4)	4(33.4) 3(60.2) 2(6.2) 1(0.2)
10	城北高校は、人権教育の推進に力を入れている。	4(37.0) 3(56.9) 2(5.4) 1(0.7)	4(31.7) 3(59.5) 2(8.6) 1(0.2)
11	城北高校は、掃除が行き届いており校内が整理整頓されている。	4(53.2) 3(44.5) 2(2.2) 1(0.2)	4(53.8) 3(41.7) 2(4.5) 1(0.0)
12	城北高校の教育環境(施設・設備)は、学習しやすいように整備されている。	4(43.9) 3(50.3) 2(5.4) 1(0.4)	4(41.2) 3(52.8) 2(5.8) 1(0.2)
13	城北高校は、家庭への情報提供や連絡等をきめ細かに行っている。	4(42.3) 3(48.3) 2(8.3) 1(1.1)	4(36.0) 3(53.0) 2(10.6) 1(0.4)
14	城北高校は、保護者および地域社会に信頼されている。	4(40.3) 3(54.2) 2(5.4) 1(0.2)	4(38.8) 3(55.4) 2(5.6) 1(0.2)
15	私は、城北高校に自分の子どもを入学させて良かったと思っている。	4(61.8) 3(34.7) 2(2.7) 1(0.7)	4(57.2) 3(38.1) 2(4.3) 1(0.4)

H30年度 評 価 (%)
4(24.3) 3(67.8) 2(7.4) 1(0.4)
4(35.3) 3(55.3) 2(8.8) 1(0.6)
4(24.9) 3(61.4) 2(12.7) 1(1.0)
4(38.6) 3(52.3) 2(7.9) 1(1.2)
4(42.5) 3(50.) 2(6.3) 1(1.0)
4(35.0) 3(52.0) 2(10.7) 1(2.2)
4(53.6) 3(43.0) 2(2.6) 1(0.8)
4(46.2) 3(47.3) 2(5.7) 1(0.8)
4(31.8) 3(61.9) 2(5.7) 1(0.6)
4(33.2) 3(57.9) 2(8.1) 1(0.8)
4(48.1) 3(48.7) 2(2.8) 1(0.4)
4(37.4) 3(54.1) 2(7.9) 1(0.6)
4(34.6) 3(52.7) 2(11.1) 1(1.6)
4(37.6) 3(54.3) 2(6.4) 1(1.6)
4(56.8) 3(36.0) 2(5.9) 1(1.4)

H29年度 評 価 (%)	H28年度 評 価 (%)
4(31.1) 3(62.7) 2(6.2) 1(0.0)	4(30.9) 3(59.9) 2(9.0) 1(0.2)
4(44.5) 3(49.7) 2(5.0) 1(0.8)	4(40.9) 3(50.8) 2(7.4) 1(0.9)
4(29.9) 3(60.4) 2(9.1) 1(0.6)	4(26.3) 3(61.5) 2(11.6) 1(0.5)
4(40.9) 3(51.9) 2(6.6) 1(0.6)	4(39.8) 3(51.6) 2(8.2) 1(0.4)
4(48.7) 3(45.0) 2(5.5) 1(0.8)	4(46.7) 3(46.5) 2(6.0) 1(0.7)
4(43.8) 3(46.4) 2(8.7) 1(1.0)	4(45.3) 3(45.3) 2(8.0) 1(1.3)
4(60.2) 3(36.8) 2(3.0) 1(0.0)	4(61.1) 3(35.5) 2(2.9) 1(0.5)
4(53.6) 3(41.3) 2(5.0) 1(0.2)	4(52.8) 3(41.8) 2(5.1) 1(0.4)
4(38.4) 3(56.5) 2(5.0) 1(0.2)	4(36.3) 3(56.6) 2(6.2) 1(0.9)
4(37.3) 3(54.6) 2(7.7) 1(0.4)	4(34.7) 3(57.5) 2(7.3) 1(0.5)
4(53.8) 3(41.0) 2(4.9) 1(0.2)	4(57.1) 3(38.5) 2(4.2) 1(0.2)
4(45.3) 3(45.9) 2(8.6) 1(0.2)	4(43.9) 3(48.3) 2(6.7) 1(1.1)
4(41.1) 3(46.6) 2(11.1) 1(1.2)	4(39.4) 3(48.9) 2(10.6) 1(1.1)
4(42.8) 3(52.0) 2(4.2) 1(1.0)	4(41.8) 3(50.9) 2(6.9) 1(0.4)
4(60.4) 3(33.3) 2(5.0) 1(1.4)	4(63.9) 3(30.1) 2(5.3) 1(0.7)

6 学校関係者評価

本校評議員、PTA役員による学校関係者評価

4:そう思う 3:まあまあそう思う 2:あまりそう思わない 1:そう思わない

1 学校経営全般について	
項 目	評価 (12人中)
(1)学校の経営方針や本年度の努力目標は、生徒の実態や保護者、及び地域住民の要望等を踏まえた適切な設定になっている。	4(6) 3(6) 2(0) 1(0)
(2)学校の教育活動について保護者や地域、中学校に、わかりやすく伝えている。	4(5) 3(5) 2(2) 1(0)
(3)学校は、教職員一人ひとりの指導力等の向上に努め、生徒の可能性を引き出し、生徒、保護者を満足させている。	4(2) 3(10) 2(0) 1(0)
(4)学校は、各学科コースの特色を生かした教育課程と、その教育指導実践を行なっている。	4(7) 3(5) 2(0) 1(0)
2 自己評価について	
(1)アンケートの項目や調査内容及び方法は、学校経営の改善へ向け、適切である。	4(9) 3(3) 2(0) 1(0)
(2)アンケート等の分析をもとにして、学校経営の成果や課題が明らかになっている。	4(7) 3(5) 2(0) 1(0)
(3)学校経営の今後の課題に対し、対策が具体的・計画的に示されている。	4(6) 3(6) 2(0) 1(0)
(4)評価項目の大項目について	
①『学校経営』について、成果と課題が明確化されており、評価を適切に分析している。	4(6) 3(6) 2(0) 1(0)
②『学力向上』について、成果と課題が明確化されており、評価を適切に分析している。	4(6) 3(6) 2(0) 1(0)
③『生徒指導』について、成果と課題が明確化されており、評価を適切に分析している。	4(5) 3(7) 2(0) 1(0)
④『進路指導』について、成果と課題が明確化されており、評価を適切に分析している。	4(7) 3(5) 2(0) 1(0)
⑤『人権教育の推進』について、成果と課題が明確化されており、評価を適切に分析している。	4(6) 3(6) 2(0) 1(0)
⑥『特別活動』について、成果と課題が明確化されており、評価を適切に分析している。	4(5) 3(7) 2(0) 1(0)
⑦大項目『各部及び専攻科』について、成果と課題が明確化されており、評価を適切に分析している。	4(6) 3(6) 2(0) 1(0)
⑧『学校行事、コロナウィルス感染症対策等』について、成果と課題が明確化されており、評価を適切に分析している。	4(7) 3(5) 2(0) 1(0)

<h3>3 生徒による評価について</h3> <p>『生徒による評価総括表』について、評価を適切に分析し、評価と課題が明確化されている。</p>	<p>4(4) 3(8) 2(0) 1(0)</p>
<p>『生徒による評価』における御意見 ①評価の4, 3の計が50%以上に該当する項目が昨年より新たに2項目増加している。すなわち「学校の配布物の充実」と「生徒の規則正しい生活」の2項目である。これこそ先生方の教育の基礎的・基本的な面の充実に努力しておられる証である。生徒の家庭学習に対する取り組みが依然として低調であることは今後も本校教育の大きな努力目標にしなければならないと思う。「授業内容を理解していない」のも予習や復習の宅習不足によるものと思われる。生徒の進路保障、生徒募集のためにも課題。そのために宅習時間の調査、指導、宅習指導や進路指導、教科会や授業に関する職員研修、図書館指導、個人指導や保護者会等々をさらに充実させることが必要。②毎日通ってきている生徒だからこそ素直な評価者であると思う。生徒の意見や要望に是非耳を傾けて頂ければさらにより良い学校になると考える。③全体的にはおおむね横ばいか向上している傾向がみられる。項目によってはコロナの影響で評価が下がるのも仕方ない部分ではある。「あまり当てはまらない」「全く当てはまらない」の合計が30%を超えているような項目は内容の改善や指導に力を入れることが必要。④「入学してよかった」と生徒自身が思っていることに安心した。「全く思っていない」6.9%の生徒達に聞いてみたいが、先生たちの頑張りによるものであると思う。全体的に良い評価になっている。しかしまだ見えないところがあるのではないかとも思う。</p>	
<h3>4 保護者における評価について</h3> <p>『保護者による評価総括表』について、評価を適切に分析し、評価と課題が明確化されている。</p>	<p>4(2) 3(10) 2(0) 1(0)</p>
<p>『保護者による評価』における御意見 ①評価の「そう思う」が15項目中12項目で昨年よりも増加している。先生方の教育に対する献身的な努力が高く評価されている証である。その中でも「生徒の生活全般に関する指導」及び「学校の教育環境の美化や整備」に関しては50%以上、更に「城北高校に入学させて良かった」は60%以上の高い評価を得ていることは実にすばらしい。この高い評価は生徒募集にも多大なる良き影響を与えていると思われる。6の項目が昨年1.2%、今年0.9%となっているのが気になる。学校の保護者へ情報伝達不足か、保護者の期待がもっと大きい為なのか、改善に期待する。②新型コロナの影響により、行事や各種活動が制限自粛されたため、学校の様子がわからず難しかったと思う。③生徒評価と同様に全体的には向上傾向が強い。④先生に対する苦言が多いように思う。⑤今年は集まらない年でしたので学校の様子が見えず、不安が伝わってきた。毎回同じような意見もあり、改善に期待したい。⑥保護者にとっては子ども達の学校での様子が見えづらく不安の大きかった一年間だったと思います。しかしながら評価のとおり教育環境も整っており保護者の方々も安心して城北高校に預けてよかったと思われるかと解釈します。⑦親として気持ちもわかるが、全ての生徒をやる気にさせるのは難しい、一人でも多くの生徒に満足してもらえば良いのでは。評価の数が良くなってきている。他校よりは良くできている。</p>	
<h3>3 その他御意見</h3>	
<p>①学校改善検討委員会について この委員会は学校活性化のために大変有意義な会だと思えます。第3部会はテーマが大きすぎて委員会の回数、時間が少なすぎて結論や実践にいたっていない。テーマを絞り込むか、会議の回数や時間を増やすか検討してもらいたい。大事なことは結果を理解把握して全職員で実践することにあると思う。②保護者の意見や感想について 全部の教職員が読んで個人で反省改善すべき項目は自発的に取り組み、教科会や学年会で取り組めることはその長が責任を持って取り組む。特に大事なことは、次年度の教育目標に掲げて実行し、保護者の期待に添うことである。③寮の食事について不満が出ています。検討して頂ければと思う。④例年に比べて手厳しい意見が目立っているような気がするが、コロナの影響で精神的な余裕が少なくなっていることや、家庭での学習量増加や学校行事の変更など学校と家庭とのコミュニケーションがとりにくいことなども影響しているのではないかと考える。特に問題点を訴えている意見については事実確認を行い、恒常的に行われていることなのか検証し、改善してほしい。生徒・保護者ともにまあまあ満足されており先生方の頑張りが認められていると思う。コロナ禍で大変であるが頑張ってください。⑤保護者からの意見にどう対応し改善していくのか返答があったほうが良いと思う。毎年同じ意見が出てくるのは同じ問題が継続していることなので、改善すべき。⑥学校は生徒にとって第2のホーム。将来に夢に向かって努力して一人の人間として良い社会人になれるよう育てほしい。これからも今の評価以上になるよう頑張ってください。</p>	

7、次年度(2021年度)教育目標

学校法人 松浦学園 城北高等学校

2021年度 教育目標

建学の精神 『人間をつくる』

1 学校教育目標

- (1) 建学の精神に則り、教師の愛と指導力と感性で心をつくる教育を展開し、社会に貢献する人材を育成する学校を目指す。
- (2) 城北魂スピリッツ「自分のことより先ず人のことを思え」の教育理念のもと、全ての差別をゆるさない、一人ひとりを認め合い、高め合う教育を実践する学校を目指す。
- (3) 生徒へ希望を与え、生徒を伸ばし、生徒の可能性を引き出す学校として、生徒、保護者、中学校を満足させる教育を展開する学校を目指す。

2 本年度の教育重点目標

- 1 「心を磨き育てる教育」の確立。教育活動全体において「この坂を上れば希望がある」「自分のことより先ず人のことを思え」の理念を基盤とした教育の具現化と実践を図る。すべての教育活動の中で強い心と美しい心をつくることを意識した教育を展開し、人権感覚を磨き、あらゆる差別を許さない心を育む教育を実践する。
生徒を認め、励まし、伸ばす教育の実践で、一人ひとりの生徒の居場所をつくる。心の掃除指導、あいさつ指導、論語教育、希望手帳の効果的活用。いじめをしない、させない、許さない教育の実践。(クラス、授業、部活動等連携指導) また、「SDGs」を理解し、自ら主体的に実行し得る生徒の育成を図る。
- 2 城北の進化「7つの学び」を深化させる。授業の質を向上させるための教科内における積極的な対話、研修と研究を積み、授業のねらいの明確化を図り、生徒が自主的、意欲的に取り組む教育を実践していく。また、ディスカッション力やプレゼンテーション力の向上を目指した授業の展開を創意工夫し、実践する。「本を語る学校」として、すみれ文庫を活用した教育活動を工夫する。授業研究と公開授業の実施。ICTを活用した授業、生徒の興味関心を高める工夫と創造された授業の展開。主体的・対話的で深い学びの実践から「読解力」「想像力」「表現力」の向上へ。
- 3 「計画的かつ系統的な進路指導」の確立。個々の生徒の進路希望や目標を具体化し、進路実現へと繋げる教育の実践。進路指導部と各学年の進路指導の連携を強化し、1年次からの目標設定と系統的かつ具体化した指導の実践。
授業・課外の充実、各種国家試験対策強化、公務員試験対策強化、希望手帳の記入の習慣化により、書く習慣づくりとポートフォリオの確立。また、思考力・判断力・表現力を意識した小論文指導と面接指導。
- 4 「効果的かつ充実した学校教育活動と学校行事」の実践。生徒が主体的に活動し充実した教育が実践できるよう各種学校教育、行事等の検討と内容改善を図る。
学校行事、各校務部行事、学科コース、生徒会行事等の精選と内容充実活動の実施。地域活性化プロジェクト、体育大会、オープンキャンパス、学園祭、山鹿学、総合的な探究の時間の活用等、内容の充実と実践を図る。